

ペインクリニック部

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月				
火				
水	オリエンテーション	佐藤（和）	10：00	ペインクリニック外来
	外来見学	高雄・奥谷・古畑	10：10	
	ミニレクチャー	高雄	14：30	ペインクリニック部 医局（1号館5階）
木	手技の練習	奥谷・宮本（大）	10：00	ペインクリニック外来
	心理テスト	佐藤（和）	手技終了後	
	透視下ブロック見学	高雄・奥谷・宮本（大）	13：30	IVRセンター5
	総括	高雄	透視見学後	
金				
	(レポート提出締切)		17：00	(Moodleにてアップロード)

◎ 診療科名： ペインクリニック部

◎ 責任者氏名： 高雄 由美子 教授

◎ 指導教員氏名： 高雄 由美子 教授

◎ 実習概要

1. カンファレンス、2. 慢性疼痛患者の診察、3. 模擬実習（腰椎穿刺）、
4. レポート作成、5. その他各種処置・治療の見学などを行い、慢性疼痛をもつ患者さんや緩和ケアを必要とする患者さんの診察・治療やケアの立案ができることを目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・ 急性疼痛と慢性疼痛を鑑別できる。
- ・ 侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛を鑑別できる。
- ・ 慢性疼痛の的確な診断と治療の立案ができる。
- ・ 慢性疼痛の集学的治療について理解できる。
- ・ がん性疼痛の的確な診断と治療の立案ができる。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

- ・ 4年次の「臨床疼痛学」をよく復習すること（2日間）
- ・ 2年次の薬理学の鎮痛薬を復習してくること（3時間）

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、病態の把握、EBM（文献に基づいた考察）について評価。

評価基準をルーブリックで明示。

【知識★】

点数	基準
5	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が特に優れている。
4	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が十分ある。
3	痛みに関連する生理学、解剖学の知識がある程度ある。
2	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が不十分である。
1	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が足りず実習継続が困難である。

【態度（積極性）★】

点数	基準
5	疑問点に気づくことができ、質問ができる。
4	実習に対し積極的。
3	ノルマはこなしているが、やや消極的。
2	実習内容に興味を示さない。
1	他者に対して不快な印象を与えない。

【コミュニケーション★】

点数	基準
5	他者とのコミュニケーションが良好にとれる。
4	働きかけがなくても他者との交流ができる。
3	こちらからの働きかけに対してのみ反応する。
2	こちらからの働きかけに対しても反応しない。
1	誰ともコミュニケーションをとらない。

【病態の把握】

点数	基準
5	模擬実習で患者管理を的確に行える。
4	模擬実習で患者管理を行える。
3	模擬実習で患者管理をある程度行える。
2	模擬実習で患者管理が不十分である。
1	模擬実習で患者管理ができない。

【EBM（文献に基づいた考察）とレポート作成（文章構成、書式の作成など）】

点数	基準
5	レポート内容に文献が反映されている。考察が含まれている。
4	レポートに参考文献として記載されている。痛みの原因や治療方法が記載されている。
3	レポートに参考文献として記載されている。薬剤説明のみ記載されている。
2	箇条書きで記載されており、参考文献の記載なし。
1	AI や他文献からの複写。

◎ 中間評価とフィードバック

実習最終日にミニテストの解説と総括を行う。

◎ 注意事項

- 週によってスケジュールが変更になる場合があるため、事前に Moodle2 にて日程を確認すること。
- 初日は10時にペインクリニック外来に集合すること。
- 外来見学、透視下ブロック見学、手技の練習時は筆記具のみ持参し、荷物（カバン）を持たずに集合すること（診療の妨げになるため）。
- 遅刻や欠席の連絡は、当日 9 時 00 分以降にペインクリニック部医局 0798-45-6819 まで連絡すること。
- 課題のレポートは Moodle より用紙（Word 形式）をダウンロードし、記入後 PDF に変換しアップロードすること（締切：実習最終日 17 時 00 分まで）。
- レポートは痛みの原因ならびに治療について考察すること。
箇条書きではなく文章で作成すること（評価に影響）。